

保護者評価

○ 環境面

支援の頻度や時間について相談上決定している事への評価は高かったが、支援に使用する教材が整えられているかわからないとの声が多かった。

○ 適切な支援の提供

子どもの特性等に応じた専門性のある支援に関し高評価だったが、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれているかはどちらともいえないとの声も聞かれる。

○ 保護者への説明等

必要な時にこどもの状況を保護者と伝え合い、健康や発達状況・課題を共通理解する事に対し高評価も定期的な面談に関しての支援は半数がどちらともいえないとの意見であった。また、ホームページやSNS等の情報発信も分からないの意見が多かった。

○ 非常時等の対応

緊急時の対応に関しては訪問先と連携とれているのか分からないとの声が多かった。

訪問先施設評

○ 環境面

電話対応や先生方にとって相談しやすい存在となっている事への評価は高いが一部どちらともいえないとの意見あり。

○ 支援の提供

質問に対して適時・適切な回答や訪問者の知識・技術等に高評価も課題や困りごとの解消に関してはどちらともいえないとの声がきかれる。

事業所評価

○ 環境・体制整備

業務改善を進めるための目標設定と振り返りに参加する人数が少ないとの意見あり。第三者による外部評価ができていないとの声が多い。

○ 支援の提供

こども・保護者のニーズや課題と適切なアセスメントにより支援計画を作成、職員間で共有し支援が行われていることは高評価。

○ 関係機関や保護者等との連携

地域の保健・障害福祉、保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制はほとんどの方が整っていると感じているのに対し整っていないとの声もあった。

○ 保護者への説明

計画作成時にはこどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善利益の優先考慮の観点を踏まえてこどもや家族の意向を確認する。機会をもうけている全スタッフは思っている。また、計画書を示しながら支援内容の説明を行い同意を得られると感じている。

○ 非常時の対応

「事故防止マニュアル」「緊急時対応マニュアル」「防犯マニュアル」「感染症対策マニュアル」等の対応、職員や家族等に周知するとともに発生を想定した訓練に関しては実施に至っていないと感じているスタッフが多かった。
安全管理に必要な研修や訓練についても十分であると感じるスタッフは少なかった。

事業所内での分析（保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援）

共通点

- ・保護者、訪問先施設ともに知識・技術を生かした専門性のある支援に関し高評価を得ている。
- ・意向を確認した個別支援計画を作成し同意を得られている。
- ・非常時、緊急時の対応等安全面に関し共有ができていない

相違点

- ・大きな相違点は無かった。

事業所の強み

- ・子どもの特性等個別性をとらえ専門性のある支援が行えている
- ・障害児リハビリの経験豊富なスタッフを配置する事ができている

事業所の改善点

- ・定期的な面談や課題や困りごとの解消に関し、保護者や訪問先では不十分と思われる。
- ・災害時を含めた非常時の対応が不透明であるため今後の検討が必要

事業所の改善への取り組み

- ・タイムリーに訪問先での支援内容の報告を出来るように関係スタッフで話し合い改善策を考える
- ・災害時を含めた非常時の対応を訪問先施設と共有し保護者へも提示していく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

開始して1、2年目の事業のため不十分な点があった。利用者家族、訪問先施設含めた関係スタッフで今後の改善策を話し合いより良い支援を提供できるようにしていきたいと思った。

※居宅訪問型児童発達支援は1件のみの実施のため、保育所等訪問支援の結果とともに評価・分析を行っている。

事業所名

放課後等デイサービスこまち

担当者

井上 淳